

令和元年9月11日

海洋パイオニアスクールプログラム 「自分で釣るイカの解剖」

教頭

- 1 目的
・地域におけるイカ釣りを通して宇久島の海とのかかわりを再認識し、海の資源への感謝と釣り場の環境を自分たちの手で美化する機会とする。
・理科のカリキュラムである「イカの解剖」を自分で釣ったイカで行うことで、命の大切さと生物への興味・関心を高めるきっかけとする。
- 2 日時
令和元年10月16日(水)(予備日23日(水))
13:40~16:00
- 3 場所
神浦方面
- 4 対象
2年生7名
- 5 指導・引率
地域の方3名 2年職員 教頭 松尾教諭(高校)
- 5 内容

(5、6校時・・・理科カウント(2時間))

- 13:40 玄関集合 バスで移動(宇久観光依頼)
- 14:00 現地着
イカ釣り準備(指導 地域の方)
- 14:30 イカ釣り開始
- 15:15 イカ釣り 終了 片付け 周囲清掃
- 15:35 地域の方へ挨拶 現地発
- 15:55 学校着 片付け 短学活

※イカは理科室冷蔵庫に保存し、翌日理科授業時に活用する。

6 準備物

- ライフジャケット 15名分
- イカ釣り具セット(釣り竿(レンタル)、餌木) 15名分
- 地域の方の保険(イベント保険に加入)

7 その他

○海洋パイオニアスクール 講演会

12月3日(火)6校時(予定)

九州大学 応用力学研究所 附属大気海洋環境研究センター

磯辺 篤彦 教授

演題「海洋プラスチック汚染(マイクロプラスチック)、漂流漂着ゴミについて」

令和元年10月17日

海洋パイオニアスクール講演会

教頭

- 1 目的
・海洋学習において、現在問題になっているマイクロプラスチックに興味を持たせ、海岸清掃やペットボトルごみの処理等の身近な生活との関連を意識するきっかけとする。
・第一の研究者の講演を直接聞くことで、世界と宇久島とつながりや将来、目標とするキャリアを学ぶ機会とする。
- 2 日時 令和元年12月3日(火) 14:40~15:50
- 3 場所 宇久中学校 図書室
- 4 対象 生徒、保護者および地域の方(小、高にも案内)
- 5 内容・日程
14:40 ・開会
・校長挨拶、講師紹介
14:45 ・演題「海洋プラスチック汚染(マイクロプラスチック)、漂流漂着ゴミ」
講師：九州大学 教授 磯辺 篤彦 氏
15:45 ・質疑応答、生徒お礼(出崎)
15:50 ・閉会
- 6 講師紹介
九州大学 応用力学研究所 附属大気海洋環境研究センター
教授 磯辺 篤彦 氏
長年にわたり漂流・漂着ごみやマイクロプラスチック等に関する研究活動を行っており、国内外の研究活動を牽引している。また、市民への啓発活動にも尽力している。市民や学生向けの講演は2018年度だけで22回を数え、研究成果に関する同年度における新聞報道は11回、テレビ出演は14回であった。今回の講演もその一環として応募し、快諾いただき実現した。
○ 直近のテレビ出演
プラスチックごみによる海洋汚染が深刻な東南アジアを研究拠点としてごみ削減につながる対策を提言しようと、日本とタイの研究者が連携して本格的な実態調査を行ったニュースについて、インタビュー出演(NHK、TBSなど10月6日)。
- 7 その他
・時数カウント… 全学年 理科1コマ
・旅費負担 … 海洋パイオニアスクール予算から「謝礼、船賃、宿泊費」を負担